

⑪ 中島 由美子 議員 (公明党)

- 1 地球温暖化対策について
- 2 食育月間について
- 3 学校のアレルギー疾患に対する取り組みガイドラインについて

⑫ 杉蘭 道朗 議員 (公明党)

- 1 改正道路交通法施行に伴う市の取組について
- 2 薩摩川内市営住宅ストック総合活用計画について
- 3 公園の施設整備について

⑬ 森永 靖子 議員 (薩摩川内会)

- 1 甌島地域の住民に緊急時の宿泊施設を市街地に設置するお考えはないですか。
- 2 市民総合相談窓口について
- 3 児童クラブについて

⑭ 井上 勝博 議員 (日本共産党)

- 1 公共関与の産業廃棄物管理型最終処分場建設問題について
- 2 児童クラブの設置について
- 3 原発定期検査の間隔延長について

⑮ 今塩屋 裕一 議員 (薩摩川内会)

- 1 小中一貫(連携)教育について
- 2 教育環境について

⑯ 佃 昌樹 議員 (市民クラブ)

- 1 産業廃棄物処分場問題について
- 2 後期高齢者医療制度について
- 3 改正地方税法について
- 4 防災関係について
- 5 らっきょう特区について

⑰ 福元 光一 議員 (むつみ会)

- 1 残された任期中に市政の集大成をどのようにされるか。

◎ 以降に主な質問の内容を紹介しますが、紙面の都合上、質問項目のうち議員が希望した1項目を掲載してあります。なお、議員名の次の( )内は所属会派の名称です。

『合併効果はどの様に生かされてきているのか』について



上野 一誠

**質問** 合併四年目を迎える今年、節目の年である。地域の一体感醸成、組織機構改革と事務事業の一元化・合併特例債の有効活用、起債事業や財政計画、総合計画と実施計画等々の検証をしながら、今後の行財政運営も含めて、新市まちづくり計画がどのように取り組まれ、合併効果を活かしてきているのか。

**答弁** 新市まちづくり計画を基本にした第一次薩摩川内市総合計画に基づき、公平バランスも考え、旧市町村それぞれの地域が発展するように配慮してきた。一体感醸成については、地区コミュニティ協議会を立ち上げ、効率的な事業の推進や補助金等の交付をし、その使途を自分達で考えて地域の活性化に使っていただいた。組織の見直しでは、支所の在り方について、行政改革推進委員会において三つの方針案を基本に審議し、八月頃に提言をいただく予定である。合

併効果を引き出すには、行財政改革が必要と考え、これまで、中期財政運営指針や行政改革大綱に沿って、行財政基盤の強化を進めてきた。合併特例債については、新市まちづくり計画で二百億円という枠が決められているが、その後、三位一体改革等の大きな変革も生じ、また、合併特例債を活用して実施する予定の大型事業が残されており、枠内でできるか危惧している。新市まちづくり計画登載事業については、毎年ローリングする総合計画実施計画の中で、有利な補助・起債を活用しながら可能な限り措置したいと考えているが、合併特例債も含め、安易に起債に財源を求めて事業を実施することには慎重でなければならぬ。

新市誕生から今日までを振り返り、市長としてどのような感慨をお持ちか



瀬尾 和敬

**質問** 平成十九年一月、「がんばる地方」の代表として、官邸で時の安倍内閣総理大臣と面談が叶ったことは、「行財政改革推進のま